

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】令和7年7月8日(2025.7.8)

【国際公開番号】WO2023/054677

【出願番号】特願2023-551901(P2023-551901)

【国際特許分類】

C 0 9 J 7/35(2018.01)

C 0 9 J 7/40(2018.01)

C 0 9 J 175/08(2006.01)

C 0 9 J 171/12(2006.01)

10

【F I】

C 0 9 J 7/35

C 0 9 J 7/40

C 0 9 J 175/08

C 0 9 J 171/12

【手続補正書】

【提出日】令和7年6月30日(2025.6.30)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

23、1GHzにおける誘電正接が0.01以下の硬化物を形成し得る硬化性接着剤層、並びに、当該硬化性接着剤層の両面を挟持する第1剥離フィルム及び第2剥離フィルムを有する硬化性接着シートであって、

第1剥離フィルムが、有色樹脂フィルム(i)と、当該有色樹脂フィルム(i)の一方の表面上に積層し、前記硬化性接着剤層の表面と接触する剥離剤層とを有し、

30

第2剥離フィルムが、有色樹脂フィルム(i)と目視で区別可能な樹脂フィルム(ii)と、当該樹脂フィルム(ii)の一方の表面上に積層し、前記硬化性接着剤層の表面と接触する剥離剤層とを有し、

下記要件(Ia)を満たす、硬化性接着シート。

・要件(Ia)：第2剥離フィルムの厚さ(T2)と、第1剥離フィルムの厚さ(T1)との厚さ比 $[(T2)/(T1)]$ が1.05以上である。

【請求項2】

さらに、下記要件(Ib)を満たす、請求項1に記載の硬化性接着シート。

・要件(Ib)：第2剥離フィルムの厚さ(T2)と、第1剥離フィルムの厚さ(T1)との厚さ比 $[(T2)/(T1)]$ が10.0以下である。

40

【請求項3】

さらに、下記要件(IIa)を満たす、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

・要件(IIa)：第2剥離フィルムの厚さ(T2)と、第1剥離フィルムの厚さ(T1)との厚み差 $[(T2)-(T1)]$ が、5.0 μ m以上である。

【請求項4】

さらに、下記要件(IIb)を満たす、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

・要件(IIb)：第2剥離フィルムの厚さ(T2)と、第1剥離フィルムの厚さ(T1)との厚み差 $[(T2)-(T1)]$ が、165.0 μ m以下である。

【請求項5】

50

さらに、下記要件(III)を満たす、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

・要件(III):第1剥離フィルムを剥離角度180°、剥離速度300mm/分で前記硬化性接着剤層から剥離する際の剥離力(R1)と、第2剥離フィルムを剥離角度180°、剥離速度300mm/分で前記硬化性接着剤層から剥離する際の剥離力(R2)との比〔(R1)/(R2)〕が、0.97以下である。

【請求項6】

さらに、下記要件(IV)を満たす、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

・要件(IV):第2剥離フィルムを剥離角度180°、剥離速度300mm/分で前記硬化性接着剤層から剥離する際の剥離力(R2)が、第1剥離フィルムを剥離角度180°、剥離速度300mm/分で前記硬化性接着剤層から剥離する際の剥離力(R1)よりも大きく、600mN/50mm以下である。

10

【請求項7】

樹脂フィルム(ii)が、透明樹脂フィルムである、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

【請求項8】

前記硬化性接着剤層が、ポリフェニレンエーテル樹脂を含む硬化性接着剤組成物から形成された層である、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

【請求項9】

第1剥離フィルムを剥離して表出した前記硬化性接着剤層を被着体に貼付した際に、第2剥離フィルム側から光学的な検査手段により、前記硬化性接着剤層と前記被着体との界面における異物の存在の有無が確認可能である、請求項1又は2に記載の硬化性接着シート。

20

【請求項10】

請求項1又は2に記載の硬化性接着シートを用いた硬化物の製造方法であって、下記工程(1)~(3)を有する、硬化物の製造方法。

・工程(1):第1剥離フィルムを剥離して表出した前記硬化性接着剤層を被着体に貼付する工程。

・工程(2):第2剥離フィルム側から光学的な検査手段により、前記硬化性接着剤層と前記被着体との界面に異物が存在しないことを確認する工程。

・工程(3):工程(2)の後、前記硬化性接着剤層を硬化させて硬化物とする工程。

30

40

50